

1

2023年4月～2024年3月の寄付実績について
下記のとおりご報告します。

区分	寄付件数	寄付金額
個人	38 件	3,289,500 円
法人・団体	8 件	15,506,182 円
合計	46 件	18,795,682 円

京都芸術デザイン専門学校、附属高等学校、
認可保育園こども芸術大学、和太鼓教育センター、
その他

180,117円

市川猿翁アーカイブ
支援寄付金
5,249,500円

京都芸術大学
URYU YOUTH募金
13,366,065円

寄付金内訳

一般の方 2%

企業・団体
17%

学園関係者
2%

在学生・
在学生の
ご家族
20%

卒業生
59%

寄付者内訳

皆さまからの温かいご支援により、
2023年度の寄付総額（現物寄附を除く）は、**約1千8百万円**に上りました。
皆さまのご支援に心より感謝申し上げます。

2

ご寄付いただきました皆さまに
感謝の気持ちを込めて芳名を掲載いたします。

2023年度 寄付者ご芳名一覧 ※ご了承ください方のみ領収順に掲載

株式会社 北白川派 様、株式会社 一閃閣 様、守屋 早姫 様、栗田 厚子 様、武田 要二 様、
丸谷 知子 様、吉田 由美 様、大西 和美 様、竹淵 美津子 様、中田 征明 様、安部 佳己 様、
村田 恵実子 様、伊与田 澄 様、北野 京子 様、辰田 聡 様、一般社団法人 TSの会 様、
沢 丞 様、古屋 志代里 様、佐々木 和子 様、岡本 ふさ代 様、江口 亮子 様、
株式会社 玄武管財 様、芝田 尚哉 様、瓜生山同窓会 様、新谷 翼 様、足立 実桜 様、
中村 和彦 様、宇都宮 剛 様、株式会社 瓜生サービス 様

学校法人瓜生山学園 2023年度 寄付実績のご報告

【お問い合わせ先】 京都芸術大学 経理課 寄付金係（土日祝除く 9:00-17:30）

〒606-8271 京都府京都市左京区北白川瓜生山2-116

tel: 075-791-9123（直通） fax: 075-791-8246 e-mail: keiri@office.kyoto-art.ac.jp



学校法人
瓜生山学園

「学校法人瓜生山学園 京都芸術大学 URYU YOUTH募金」 寄付金の使途



教育・キャリア活動支援

産業界との連携強化を図ることにより、産学公連携プロジェクトの実施件数は128件（前年度99件）、延べ2,071名（前年度3,123名）の学生が参加しました。

キャリア活動支援においては、早期化する就職活動に対応した支援を行うことで、芸術学部卒業生の進路決定率（（就職+進学）/卒業生）は90.8%となり、目標の90%を3年連続で達成しました。また、昨今の就職活動において重要な位置づけとなっている3年次夏のインターンシップへの参加率は62.3%となり、目標の60%を達成しました。

新校舎 建設事業の支援（施設設備の充実）

新たな学びの場として、2024年4月に一乗寺新校舎「相照館」が完成しました。

人間館と道路を挟んで向かいの白川通り沿いに建設され、主にキャラクターデザインコース、マンガコースの学生が授業を受ける教室や研究室が入っています。相照館は、「人とつながる」「出会いを生み出す」「まちへひろがる」が建物のコンセプトとされており、この建物が新たな交流機能を有するキャンパスとなることが期待されています。



大学基盤の強化（大学に一任）

【通学部】

通学部では、専門家による学生支援の拡充を目的に、「健康支援室」「学生相談室」「UDL (Universal Design for Learning) 推進室」の3つのセクションから構成される「学生支援センター RAPPORT」を設置しました。これまでも行ってきた個別相談への対応に加え、心理教育の実施やピアサポーターの養成など活動領域を拡大し、すべての学生に対し、心と身体の両面から、さらに充実した支援ができる体制を整えました。

【通信教育部】

通信教育部は2024年度在学生数1.6万人を突破。国内最大の通信制大学としてますます規模を拡大しています。2024年4月には卒業まで完全オンラインで学べる「映像コース」「食文化デザインコース」を新設し、オンラインでの学習ニーズに応える教育をさらに推進させました。



その他 学科へのご寄付

【美術工芸学科 染織テキスタイルコース】

授業で使用するレーザー墨出し器の購入に充てさせていただきました。全学年で使用させていただいております。

